

鋼管コンクリート構造における充填施工技術^{*1}

稲原 直也^{*2} 岩崎 隆^{*3} 上田 恭伸^{*4}

Pumping-up Method of Concrete into Steel Tube Column

Shin-ya Inaoka Takashi Iwasaki Yasunobu Ueda

1 はじめに

鋼管柱の内部にコンクリートを充填した鋼管コンクリート構造

2 フレッシュコンクリートの性状

充填施工に用いるフレッシュコンクリートは、流動性に優れ、か

形式として、今後、急速に発展していくものと期待されている。しかしながら、この優れた性能を発揮させるためには、ダイヤフラム
下部に充填されるコンクリートが密実に充填

そのような観点から、充填コンクリートは、スランプフロー 50 cm 以上 70 cm 以下、50 cm フロータイム 5 ~ 10 s、90 min 以内の性能ロスが少ないなどを目標性能とした高流動コンクリートとしている。

